

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.81
2017.11



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

「本土最東端のパノラマクルーズ」今年も運航開始

指導船「第十五はぼまい丸」による『北方領土を間近に望む 本土最東端のパノラマクルーズ』が今年も11月1日から始まりました。

海外の野鳥ファンや観光客から好評を博しているこのクルーズは、歯舞漁港から納沙布岬、北方領土・貝殻島灯台の日口中間ライン付近を通って同漁港に戻るコースで、所要時間は約2時間です。

納沙布岬周辺海域は日本でも有数の海鳥の飛来地で、天然記念物のオオワシのほか、オジロワシ、ウミウ、ラッコ、ミンククジラなど多数の海鳥や哺乳類に出会うチャンスがあり、これまでも多くの観光客を魅了してきました。

運行期間は11月1日から翌年4月30日までです。



- 定員：12名（前日までの予約制）
- 出航時間：午前9時、午前11時、午後2時の1日3便（所要時間約2時間）
- 料金：大人5,000円、小・中学生3,000円（保護者同伴）
団体割引 10名以上の御予約につき10%割引。
事前予約が必要。

＜お問い合わせ・乗船お申し込みはこちらまで＞

歯舞漁業協同組合 指導部・遊覧船係
(TEL 0153-28-2124)

歯舞漁協が「海難遺児をはげます会」に寄付

歯舞地区マリンビジョン協議会は9月8日、「根室地区漁船海難遺児をはげます会」（島祐一会長）に第5回歯舞おさかな祭りと第11回歯舞こんぶ祭りで集めた21万100円を寄付しました。当協議会は2015年から、地域貢献の一環として両祭りでチャリティー抽選会を実施し、その売り上げを寄付しています。

寄付金は歯舞漁協小倉組合長から島会長へと贈呈され、漁船海難で父親を亡くした子供たちを心身的、経済的に支援するために活用されます。



小倉組合長（左）から島会長（右）に寄付金が贈呈されました

大学生 40 人が北方領土研修

9月4日～6日、「北方領土ゼミナール」が根室市内で開かれ、全国23大学から参加した40人の学生らが北方領土問題に理解と認識を深めました。

参加者は3日間にわたって市内に滞在し、北方領土に関する解説を受けたり、元色丹島民の講和を受講するなどして北方領土について学び、北方領土問題解決後の未来像について意見交換しました。

歯舞漁協では昼食を提供し、さんまの刺身やいくら醤油漬け、結び昆布、北海しまえびなど、歯舞の海の幸がたっぷり詰まったお弁当は、若い世代からも大変好評でした。



昼食の様子



直販所を見学

「秋の朝市」初開催！

歯舞漁協と歯舞水産物ブランド化推進協議会は10月21日午前7時から、歯舞漁協西市場で「秋の朝市」を開催しました。今回初開催のイベントでしたが、歯舞の魚を求めて約300人の市民らでにぎわいを見せました。

会場には獲れたてのサンマ、秋サケ、タラ、メンメ、カレイなどが並び、特に開始から20分ほどでタラ、メンメ、生サンマの箱売りが完売になるなど、大盛況でした。お目当ての魚を購入できなかったお客様、大変申し訳ございません！また、生サンマのつかみどりも行われ、袋いっぱい

にサンマを手にする来場者の姿も見られました。

次回の開催は未定ですが、開催の際は是非また足をお運びください。



開始に先立ち
歯舞漁協中村参事より挨拶



サンマのつかみどり



にぎわう会場

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

